

# 乳がん地域連携パスの運用における現状と今後の課題 ～連携コーディネーターとしての看護師の立場から～

松山赤十字病院

乳がん看護認定看護師 篠崎恭子

末光澄子 大空真樹

愛媛県がん診療連携協議会

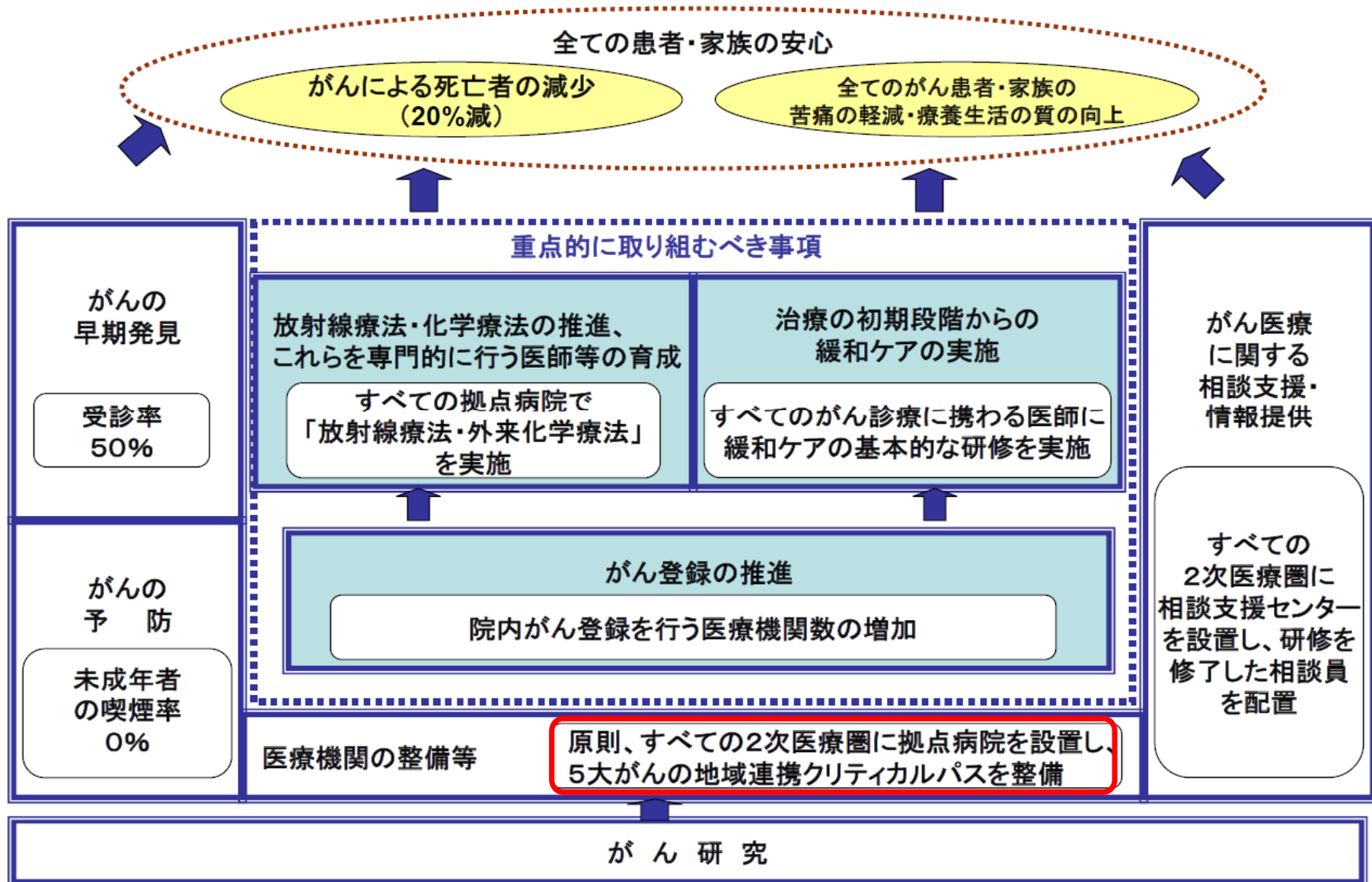
# はじめに

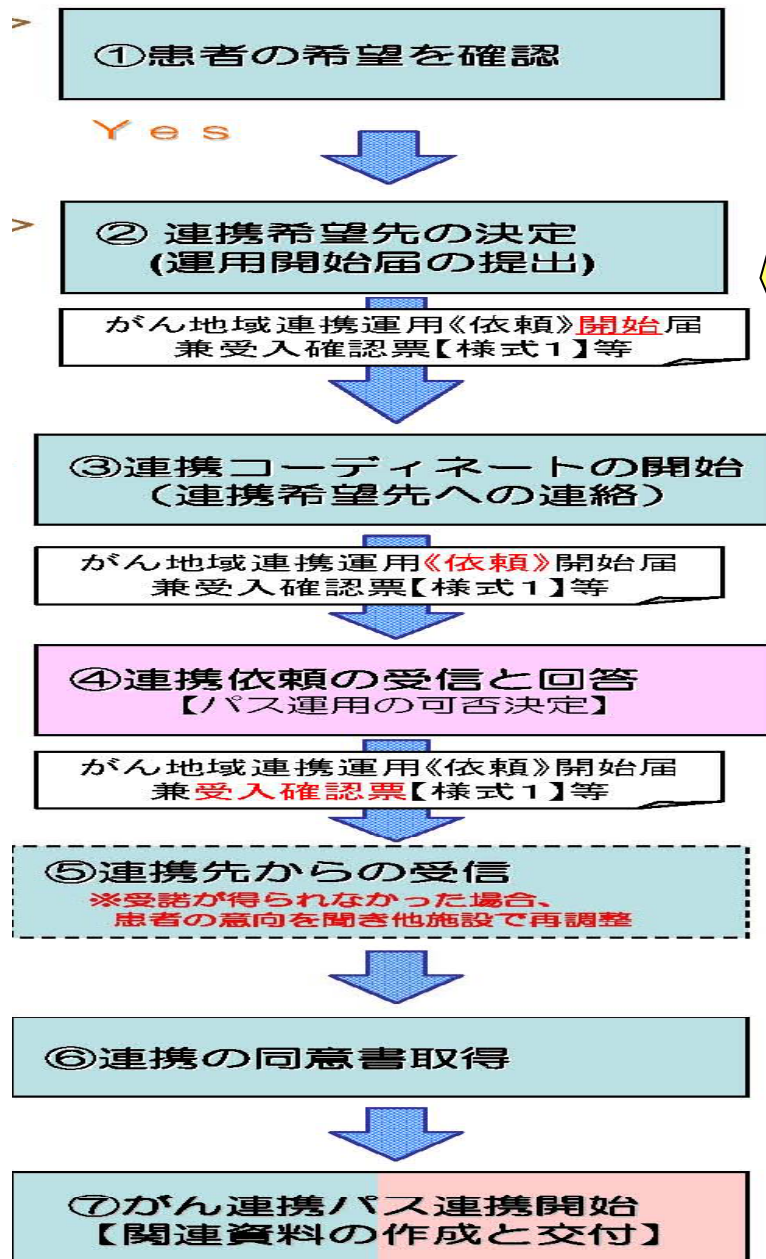
## 【地域連携クリニカルパスの政策】

- がん対策推進基本計画（平成19年6月）において医療機関の整備において取り組むべき施策の個別目標に「すべての拠点病院において5年以内に5大がん（肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん）に関する地域連携クリティカルパスを整備することを目標とする」ことが決められた。
- がん診療連携拠点病院の指定要件には、診療機能として病病連携・病診連携の協力体制について「**地域連携クリニカルパスを（平成24年3月31日までに）整備すること**」が明記された。

# がん対策推進基本計画

平成19年6月





## 地域連携パス運用の フローチャート

患者の来院回数を減らす為、連携希望先の決定をした時点で、同意書の取得を行う。

### 共同診療計画書(乳がん術後連携パス)

術式 乳切 温存 閉経前 閉経後 放射線治療 あり なし

ホルモン剤 抗エストロゲン剤(TAM) アロマターゼ阻害剤(AI剤) 薬剤変更日 年 月 日

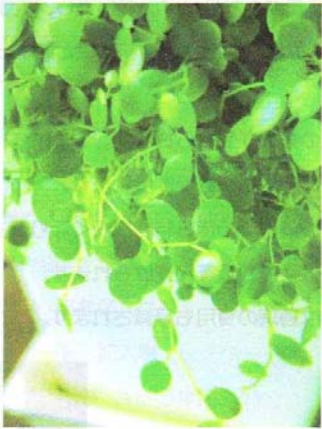
項目	(施設名) (施設名: )における日常診療											
	退院～治療開始 /	日常診療 (施設名) 6か月後 /	日常診療 (施設名) 1年後 /	日常診療 (施設名) 2年後 /	日常診療 (施設名) 3年後 /	日常診療 (施設名) 4年後 /	日常診療 (施設名) 5年後 /					
達成目標	術後連携によるフォローアップ ホルモン療法の完遂 術後後遺症、副作用、再発の発見 再発、副作用等発生の場合、連絡 <input type="checkbox"/> 患者様用パス説明											
連携、連絡	術後連携の説明 再発、副作用等発生時の連絡先確認 <input type="checkbox"/> 患者様用パス説明											
投薬	処方	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )	<input type="checkbox"/> ホルモン剤 ( )
	チェック	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認	<input type="checkbox"/> 服薬状況確認
教育・指導	服薬指導(保険薬局) 生活支援	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック	<input type="checkbox"/> 併用薬チェック
診察・検査	全状 身態	PS										
	問診	TAM	更年期症状 帯下の変化 肝機能障害 子宮体癌検診(年1回)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		AI剤	関節痛 更年期症状 肝機能障害 骨密度測定(年1回)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	視・触診	局所:腫瘍・硬結・発赤 リンパ節腫大 鎖骨上窩:リンパ節腫大 腋窩:リンパ節腫大 患側上肢:リンパ浮腫・炎症										
検査	末梢血一般 生化学 腫瘍マーカー(CEA,CA15-3,その他)	6ヶ月毎 6ヶ月毎 6ヶ月毎										
	マンモグラフィ 骨シンチ 胸部レントゲン 腹部超音波検査 CT(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

\* 担当施設名と通院間隔は、施設間の協議による

# 私のカルテ

**えひめ** 私のカルテ

乳がん 手術後ホルモン療法



お名前: \_\_\_\_\_

発行病院: \_\_\_\_\_

発行年月日: 20 年 月 日

## 【内容】

1. 地域連携クリティカルパスの説明書、同意書
2. 決定した連携先医療機関の一覧
3. 患者用連携パス
4. 乳がん治療や副作用の説明
5. 自己チェックシート
6. 患者さん用メモ

## 運用開始後の現状

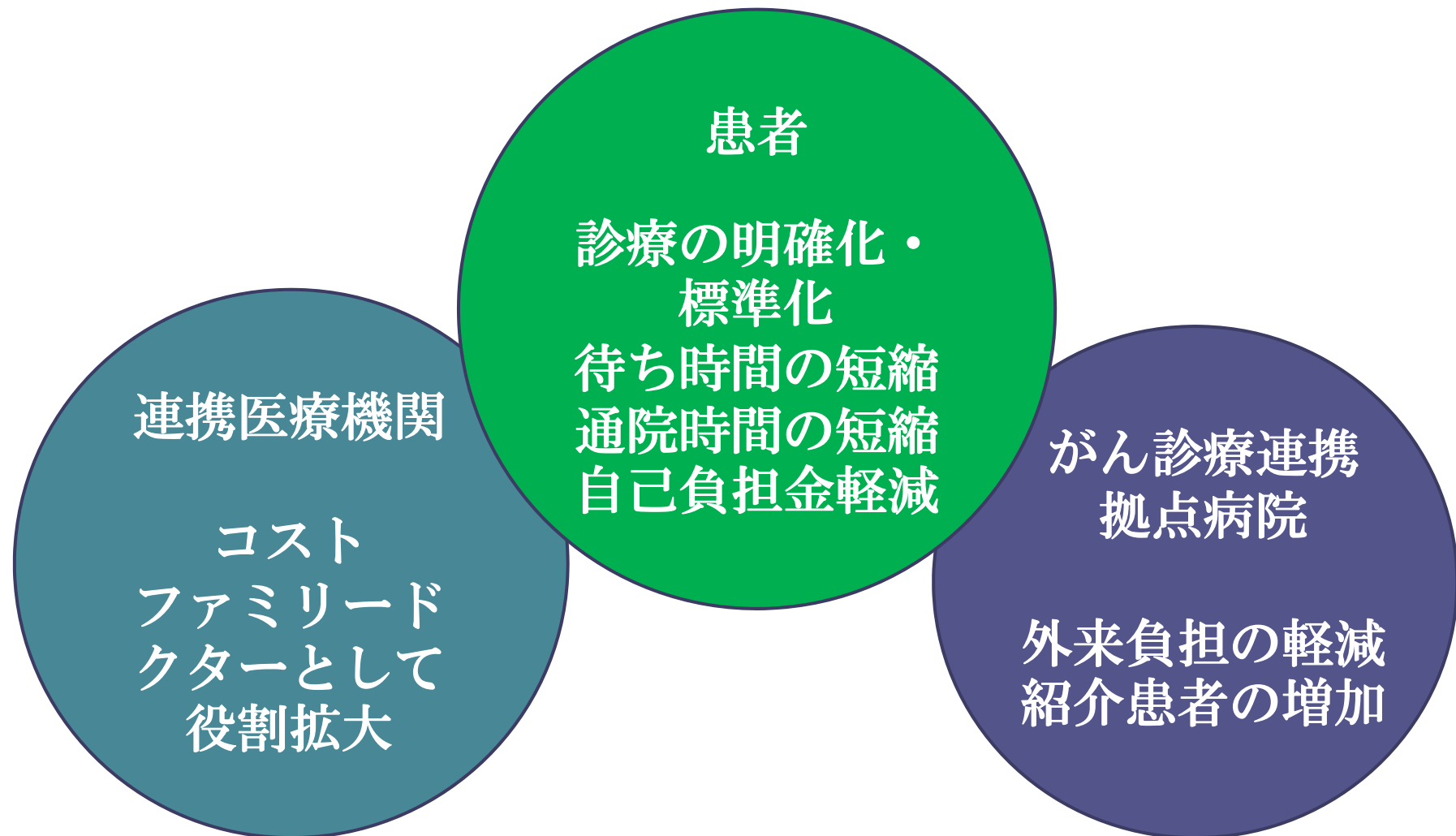
- 連携パス利用患者：27名  
(H21年10月～H22年6月)
- 連携パスへの同意が得られなかった患者：2名
- 連携先の受け入れが困難であった患者：4名
- 現在連携コーディネート中の患者：1名
- 連携先がパス対象施設：4施設
- 連携先が紹介元となった施設：10施設  
(そのうちパス対象施設は1施設のみ)

## 連携パス説明方法

- 説明場所：主に地域連携室
- 説明するスタッフ：看護師（乳がん看護認定看護師または外科外来看護師）と事務
- 説明の所要時間：約30分



# がん連携パスの導入のメリット



## 連携パスに同意した患者さんの声



通院時間・待ち時間の  
短縮になってよかった。

もっと早くこの制度  
があればよかった。

そのような制度  
になっているの  
ならいいですよ。

## 連携パスの同意が得られなかった患者さんの声

治療があと少しなのでここで診てもらいたい。

自宅が病院から近いからここで診てもらいたい。

乳腺専門の先生に診てもらいたい。

家族が当院に通院しているから、一緒に来たい。

近所の病院に行くと、近所の人に病気が知られるのが嫌だ

国の方針だからと言って絶対に従わないといけないのか？



患者に同意が得られなければ  
連携パスは運用できない



患者説明を行う**連携コーディネーター**  
の役割が重要

連携コーディネーターとなりうる職種  
看護師・MSW・事務

看護師→医療・看護

事務→社会資源の活用・費用

それぞれが得意分野を生かして連携をする

## 連携コーディネーターとしての看護師の役割

### 患者・家族のサポート

- 十分な情報提供と説明により、パスの理解を得る
- 患者・家族の相談にのる
- 医師へ思いを伝える

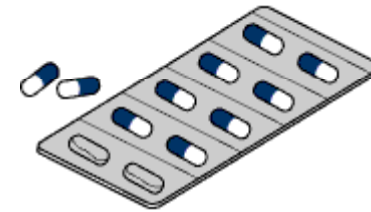
第一の相談役として  
いかなる場合も  
患者を支える

### 患者・医療者間の架け橋 医師の負担の軽減

- 患者の情報提供
- 患者・家族の思いを伝える
- 医師の説明の補足
- 継続診療に関わる連携を調整する

## 連携パス説明時に受けた相談内容

- ホルモン療法の副作用の対処法について
- 自己検診法について
- リンパ浮腫について
- 術後創部の洗浄方法
- 創部のマッサージについて
- 創部の痛みへの対処法について
- 術後の下着について
- 周囲に乳がんを知られたくないがどうすればよいのか？

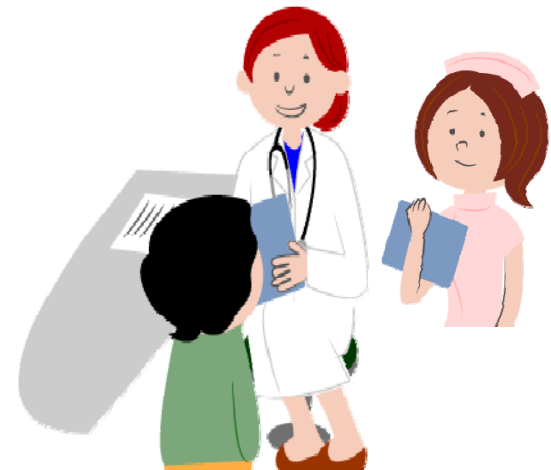


患者の相談に丁寧に対応することは、患者の  
第一の相談役としての役割



## 今後の課題

- 運用体制の整備
- 医療者間の調整
- 地域連携後の患者サポート



## 運用体制の整備

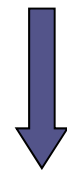
- **時間の確保**  
→ 外来業務とコーディネーター業務の両立をどのように行うか。
- **場所の確保**  
→ 外来の合間ではなく、患者が安心して質問ができるスペースが必要
- **人材の確保・質的確保**  
→ コーディネーター業務の専任的役割者の検討
- **運用管理方法の検討**  
→ パス部会での評価・検討を行う





## 医療者間の調整

- 院内における医療者間との連携
  - 患者選定の時期と基準の見直し
  - 院内スタッフに対する連携パスの理解の促進
- 連携先の医療者との連携
  - 定期的な勉強会・連携パス説明会・カンファレンスの実施



連携パスの理解を得ること  
不安を解消すること



## 地域連携後の患者サポート

- 連携後の患者の思いを受け止める
  - 不安や困ったことはないか
  - 医療者の押し付けになっていなかったか
  - 私のカルテの活用状況



## おわりに

- 私たち看護師は、連携コーディネーターとしての役割を果たすことを期待されている。
- 連携コーディネーターの役割は、患者が安心・安全な医療を受ける為にも大きく、連携パス運用の成否を握る。
- 連携パスを利用する患者は当院でも連携先でも同じ医療の質が保証されなければならない。
- 連携パスの運用においては、患者の声を聞きながら、ともにすすめていかなければならない。

ご清聴ありがとうございました。

